

Information

正規職員・パート職員を急募！

仕事内容、給与、待遇など募集に関する詳細は、法人事務局までお問合せ下さい。

- みやま工房（就労継続支援B型） 職業指導員募集 野菜など農作業、パソコン解体など！**
【仕事】農作業やパソコン解体作業、利用者への作業指導、利用者の支援記録などの事務業務など
【勤務】（正規職員）8時から17時（昼休憩1時間）
（パート職員）8時から17時の内の6時間～8時間（昼休憩1時間）
【休日】週休二日制（土日祝日） 但し、月2回程度土曜出勤あり
- 法人事務局 事務職員募集 経理・総務事務全般！経験者歓迎！**
【仕事】経理、労務、庶務など総務業務全般
【勤務】（正規職員）8時から17時（昼休憩1時間）
（パート職員）8時から17時の内の6時間～8時間（昼休憩1時間）
【休日】週休二日制（土日祝日）
- キッチンハウスみやま（就労継続支援B型）職業指導員 宅配弁当のお仕事です！**
【仕事】調理補助、配膳、配達、利用者への作業指導
【勤務】（パ）7時から16時の内の6時間～8時間（昼休憩1時間） 月1回程度、早出出勤あり。
【休日】週休二日制（土日祝日）
- ハーモニーやまなみ（グループホーム） 世話人さん募集 中抜け勤務で効率よく働けます！**
【仕事】朝食・夕食の食事提供、衛生管理、健康管理・金銭管理、相談支援、記録等
【勤務】（パート職員）朝7時から10時、夕15時から19時 計7時間 ※中抜けあり
勤務日数は月15日程度（ローテーション勤務）

令和6年度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。昨年に引続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000 円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行 特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 賢一

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2024.10

No.255

最低賃金、過去最大の引上げ、群馬県の最低賃金は985円に！

今年の10月以降、順次、適用される都道府県ごとの最低賃金が出そろいました。人材流出への危機感などから国の目安の50円を上回る引き上げが相次ぎ、平均の引き上げ額は過去最大の51円で、全国平均の時給は1055円となりました。

今回の最低賃金の引き上げで群馬県は935円から50円引き上げられ985円になりました。一昨年と合わせると2年間で90円も引き上げられたことになります。

昨今の物価高騰を考えれば、最低賃金があがるということは喜ばしいことですが、事業者の立場からすると急激な引き上げは人件費の増加に直結しますので、手放しで喜べない状況にあります。

最低賃金の大幅な引き上げでひっ迫する人件費

昨年の最低賃金の見直しの際も、これまでにない上げ幅で一気に40円も引き上げられました。そして、山脈にとっては、入職時のパート職員の時給を最低賃金が上回る初めての事態となりました。山脈は、これまで毎年、経営努力を重ねながら少しずつですがパート職員の時給を引き上げてきました。40円の引き上げは、その地道な努力もいっぺんに吹っ飛んでしまうほどの引き上げでした。そこで、山脈は法令を遵守すべく最低賃金を下回ったパート職員の時給を935円に引き上げ対応しました。

しかし、今年は去年を更に上回る50円の引き上げです。また、昨年以上の賃上げで対応をしなければなりません。まるでイタチごっこです。国は「2030年代半ばまでに全国平均を1500円」という目標を掲げていますので、最低賃金の引き上げによる人件費のひっ迫はこれからも続きます。

障害福祉サービスは多くのパート職員によって支えられています。しかし、低賃金ではパート職員も集まりません。事業所としてももっと高い時給にしたいのですが、福祉予算の抑制により厳しい経営を強いられているのが現状です。

所得が増えた分、労働時間を短くするパート職員も

パート職員の中には、配偶者等の扶養の範囲で働くことを希望し、年間の所得の調整をするため労働時間の抑えながら働いている方がいます。特に年収の壁と呼ばれる限度所得のギリギリで所得を調整している人は、今回のように大幅な時給の引上げにより限度額を超えてしまう心配があります。そうした方は時給が上がっても時間調整し年間所得を調整しますので、最低賃金の引上げがそのまま所得アップには必ずしもつながらない人もいます。更に、そうした方がこれまでよりも仕事時間を減らすとシフトが回らなくなり、新たなパート職員を増やさなければならない心配もあります。

慢性的な職員不足により障害福祉サービスの存続も危ぶまれる

「ハローワークに求人を出しても、応募が1人もない」、「募集しても、時給で他の企業等に負けてしまう」、「慢性的な職員不足の中で、職員が疲弊し、利用者支援の内容を減らさざるを得ない」など、障害福祉の現場では悲痛な声があがっています。正に、慢性的な職員不足により障害福祉サービスは存続の危機と言えます。

昨年、きょうされんが実施した「職員不足の実態調査」によると、障害福祉サービス事業所では、正規職員の応募人数に対する採用人数の割合である「充足率」は53.5%であり、一般企業等と比較するときわめて低い水準にあるということです。

また、最近では職員が集まらないため、必要な職員体制が整わず事業所の閉鎖や事業の縮小をする法人が出てきているという話も聞きます。

最低賃金の大幅な引き上げは喜ばしいことではあるが、併せて報酬制度、更には年金や社会保険などの社会保障制度等についても考えて欲しいと率直に感じます。

次世代を担う職員の学びの場、「船津塾」、「芦川塾」を開塾！

山脈は創立20年の節目にして大きな変革期を迎えています。昨年度から法人の運営は理事長、事務局長、管理者で構成する経営委員会が中心となり、毎月、様々な協議が行われています。山脈は、「障がいがあっても安心して暮らせる地域の一助になりたい」という法人創立の初心を忘れず、そして、「どんな社会情勢の変化も乗り越え持続力のある組織」を目指しています。山脈の運営を、職員ひとりひとりが「他人事」ではなく、「自分事」として捉え、山脈の発展のため主体性を持って「考え」、そして、「行動」ができる集団、「フラットな組織」を目指しています。

また、山脈は、10年後、20年後の山脈を担う職員の養成に取り組みはじめました。特に山脈の正規職員は全員が将来、法人の中心となるチーフやマネージャー（管理者）となる幹部候補です。彼らには、敷かれたレールの上を進むのではなく、何も無い荒野にレールを敷き、突き進む開拓精神を期待しています。

そこで山脈は、次世代を担う職員を育てるため、「船津塾」と「芦川塾」という新しい学びの場を設けました。「船津塾」も「芦川塾」も山脈の職員であれば、正規職員、パート職員を問わず参加できますが、幹部候補である正規職員については、積極的に参加して頂きます。また、パート職員の正規職員への登用チャンスも十分にありません。「船津塾」、「芦川塾」で学び、大いに挑戦して頂きたいと思えます。

●船津塾

「船津塾」は、キッチンハウスみやまの船津マネージャー（管理者）が講師となり、山脈の職員としてのあるべき姿、仕事の心構えなど参加者（塾生）と共に考え、山脈の仕事の流儀「ヤマナミズム」の策定を目標としています。「ヤマナミズム」とは、やまなみ (yamanami) と流儀 (ism) からなる造語です。



●芦川塾

「芦川塾」は麦のゆめの芦川マネージャー（管理者）が講師となり、山脈が目指す理想の支援者像について参加者（塾生）と共に考え、新しい山脈の理念「ヤマナミデア」の策定を目標としています。「ヤマナミデア」とは、やまなみ (yamanami) と理念 (idea) からなる造語です。



●ヤマナミズムとヤマナミデア

様々な難局に対峙するためには、職員が法人の指針や理念を共有することが大切です。その指針・理念が「ヤマナミズム」と「ヤマナミデア」になります。「ヤマナミズム」と「ヤマナミデア」は壁に突き当たり行き詰った時に、立ち戻る原点でもあります。山脈を「他人事」ではなく「自分事」とし、そして、与えられるものではなく、自分の物にして欲しいと考え、将来を担う職員達に「ヤマナミズム」と「ヤマナミデア」を策定して欲しいと思えます。

麦のゆめ イルミネーション水族園に行ってきました！

8月15日（木）、麦のゆめの利用者さんと前橋スズランで催されていたイルミネーション水族園に行ってきました。利用者の皆さん、普段なかなか見ることのできない魚たちを興味深そうに見学されていました。

お昼はけやきウォーク前橋に移動し、思い思いのものを選んで食べました。自由時間もアイスを食べたり、買い物をしたり楽しめました。皆さんが嬉しそうにワクワクしている姿を目にして、引率した職員一同もとても嬉しい気持ちになりました。以下、参加した利用者さんの声をご紹介します。

- ・またレクリエーションしたいです。楽しかったです。(T.Mさん)
- ・久しぶりに海鮮丼が食べられてとても楽しかったです。また、食べたいです。(K.Kさん)
- ・今回のレクリエーションは良かったです。水族館も綺麗でした。お昼も良かったです。本当に楽しみました。(K.Fさん)
- ・スズラン水族館ではクマノミが可愛かったです。ウミヘビのぬいぐるみなどがいました。けやきウォークでウィンドウショッピングやお寿司を食べたり、プリクラ撮影も楽しめました。(T.Yさん)



投稿コーナー

星の会 かわら版No.10

精神疾患へ音楽のススメ

言葉は人と人とのコミュニケーションツールとして、自分の気持ちや考えを相手に伝え、それによって絆が深まり、信頼を勝ち得ていく大切なものです。人類の最大の発明は言葉です。

しかし、言葉が発明される前には、音楽がありました。原始人が輪になって吠えて、石を打ち鳴らす音楽。音楽こそ心の表現の発祥です。

精神疾患は無意識の崩壊の障害です。言葉では届かない無意識の領域。そこに届くものこそ、実は音楽なのです。音楽こそ心の栄養です。楽器がひとつできると面白くなります。歌でも気持ちいい。気持ちは開放され、安らぎとリラクゼーションが期待できます。

人との会話も大切ですが、音楽もひとつどうでしょう？

音楽は宇宙誕生から存在していたもの。言葉は人類が誕生してから生まれたもの。音楽こそ宇宙空間を満たしています。音楽で宇宙に心を開放し、委ねてみたいですね。気持ちいいですね。

星の会